

求職者支援訓練コース案内

【10月開講】 【実践コース】



ハローワーク
— 急がば学べ —

【基礎から学ぶJava+Pythonプログラマー養成科】

訓練コース番号 5-06-40-002-02-0182 訓練実施機関名 株式会社キャリアプログラム

訓練期間	令和6年10月22日(火) ~ 令和7年4月21日(月)	土日祝日の訓練の有無	有	土曜日の訓練(全6回) ※キャリアコンサルティング (1時間/人)のみ実施
訓練時間	10時10分 ~ 16時50分			
訓練対象者の条件	特になし			
定員	19名	受講申込者が定員の半数に満たない場合は、訓練が中止となる場合があります。		
求職者支援訓練申込方法	①住所を管轄するハローワークにて就職相談を受けてください。 ②訓練受講が適切と認められた場合に受講申込書の交付を受け、必要事項を記入の上、募集期間内にハローワークで受講申込手続きを行ってください。 ③ハローワークで受付された受講申込書を「受講申込書提出場所」へ持参または郵送により、提出ください。			

募集期間	令和6年8月21日(水) ~ 令和6年9月18日(水) (注)		
	(注)受講申込みをするためには、ハローワークで複数回の相談を行うことが条件になります。このため、9月17日(火)までにハローワークで初回の相談を行う必要があります。 ※募集期間終了間際になると、ハローワークの受付窓口が大変混雑しますので、お早めの受講申込手続きをお勧めします。		
訓練実施施設の見学	可	見学可能日	見学希望者を集めての学校説明会、学校にお越しいただけない方へのZOOM説明会を実施しております。 電話もしくはホームページよりお申込みください。 (訓練施設PR欄の二次元コード参照)
受講申込書提出場所	〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜一丁目4番13号 SF福岡ビル6階		
選考試験実施日	令和6年9月27日(金)	選考結果発送日	令和6年10月3日(木)
選考試験実施場所	〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜一丁目4番13号 SF福岡ビル6階		
選考方法	面接のみ	持参する物	筆記用具

訓練実施施設名	創造社リカレントスクール福岡校		
訓練実施施設の所在地	〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜一丁目4番13号 SF福岡ビル		
電話番号(お問い合わせ先)	092-401-1835	お問い合わせ担当者	上原・堀江・田中・淡路屋・沼口
駐車場の有無、台数及び料金	無	最寄駅等	地下鉄 天神駅 徒歩9分 地下鉄 赤坂駅 徒歩10分 西鉄バス 長浜一丁目 徒歩1分
駐輪場の有無、台数及び料金	無		

訓練施設PR欄(過去の訓練の実績、就職率、就職先、訓練の特徴等)



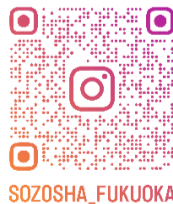
未経験からでも
安心して学べる!

DX推進スキル標準対応の訓練コースです

創造社リカレント
スクールのHPIは
コチラから!!!

創造社リカレントスクール
福岡校の修了生の声やコー
ス紹介動画はコチラ!!!

Instagramでも本校
の情報を発信中!!!



SOZOSHA_FUKUOKA

※一定要件を満たせば、訓練期間中、職業訓練受講給付金(月10万円+通所手当)が支給されます。詳しくは、住所地を管轄するハローワークにお問い合わせください。



福岡市地下鉄 空港線 天神駅 西1出口から徒歩9分

訓練カリキュラム

訓練実施機関名: 株式会社キャリアプログラム

訓練目標 (仕上がり像)	Javaプログラミングだけでなく、Pythonプログラミングも身につけ、業務に必要なデータベースサーバーの構築やソフトウェア開発ができる人材。								
訓練修了後に取得 できる資格	名称(Javaプログラミング能力認定試験 3級)	認定機関(株式会社 サーティファイ)	<input checked="" type="checkbox"/>	任意受験					
	名称(Oracle Certified Java Programmer, Bronze SE)	認定機関(Oracle社)	<input checked="" type="checkbox"/>	任意受験					
	名称(Python 3 エンジニア認定基礎試験)	認定機関(一般社団法人Pythonエンジニア育成推進協会)	<input checked="" type="checkbox"/>	任意受験					
	名称()	認定機関()	<input type="checkbox"/>	任意受験					
訓練概要	コンピュータの基礎知識を学び、Java及びPythonを習得する。基本的データベース構築技術、WEBアプリケーション作成技術を身につける。【DSS対応】								
学 科 実 技 内 容	科目	科目の内容				訓練時間			
	入校式等	入校式・オリエンテーション(3H)、修了式(3H)							
	ITリテラシー	ハードウェアとソフトウェアの基礎知識				6時間			
	ソフトウェア開発概論	ソフトウェア開発に必要な知識				6時間			
	ネットワーク概論	オフィスネットワークの利用と構築				6時間			
	安全衛生	情報機器作業の留意点と安全衛生				3時間			
	就職支援	ジョブ・カード作成方法・面接の受け方・応募書類の作成方法				18時間			
	コンピュータ基本操作	①PC起動・終了 ②マウス・キーボード操作 ③ソフトの起動・終了 ④データ保存方法 ⑤代表的なWeb会議ソフトの使用法と操作 ⑥共有データサーバーの活用と留意点 ⑦オフィスソフトの基本操作(Word) ⑧簡単なトラブルシューティング ⑨各種IDやパスワードの管理やアクセス権、添付ファイル付きメール対応等におけるセキュリティ対策 使用ソフト: Word				3時間			
	ITリテラシー実習	①Officeソフトウェアの習得 ②コンソールの使用法、VBAの基本操作(用語(プロパティ、メソッド、オブジェクト等)や画面構成の理解と処理・記述) ③基本的なプログラムの作成(VBAを利用したコマンドプロンプトの起動と実行) 使用ソフト: Excel、Word				30時間			
	Python実習	Python基礎文法とその仕組み(データ構造・検索・並べ替え) 使用ソフト: WinPython				60時間			
Javaプログラミング(基礎)	対話型アプリケーション制作 I (①Eclipse、JDKのセットアップと設定 ②JavaSEによるGUIアプリケーションの作成 ③正規表現と文字列操作) 使用ソフト: Eclipse				72時間				
Javaプログラミング(応用)	対話型アプリケーション制作 II (①オブジェクト指向によるプログラムの記述 ②Eclipseを使ったデバッグ処理 ③JakartaEEによるGUIアプリケーション作成) 使用ソフト: Eclipse、ApacheTomcat、MySQL				72時間				
Webプログラミング(基礎)	プログラムを活用したWebページ制作(Webページ作成(HTML)、ページレイアウト作成(CSS)、動的なWebページ作成(JavaScript)) 使用ソフト: VisualStudioCode				30時間				
Webプログラミング(応用)	CSSフレームワークの活用、WebAPI活用 使用ソフト: VisualStudioCode				48時間				
データベースプログラミング	データベースサーバーの作成(①データベースの構築 ②テーブルの設計 ③データの投入④データの問い合わせ ⑤複雑なデータの管理) 使用ソフト: MySQL				72時間				
アプリケーション企画実習	チームによるソフトウェアの企画・設計(①要求分析と設計 ②アプリケーション詳細設計書作成 ③詳細設計書の検証) 使用ソフト: Word、Excel				30時間				
アプリケーション制作実習	チームによるソフトウェアの制作(①ペアプログラミング ②作成したソフトウェアのテスト計画 ③作成したソフトウェアのシステムテスト ④作成したソフトウェアのメンテナンス) 使用ソフト: Word、Excel、PowerPoint、Eclipse、MySQL、ApacheTomcat				78時間				
ソフトウェア開発	ソフトウェア開発での周辺技術の習得(①バージョン管理システム ②セキュリティ対策) 使用ソフト: Word、Excel、Eclipse、MySQL、ApacheTomcat				72時間				
企業実習	<input checked="" type="checkbox"/>	実施しない		実施する					
職場見学、職場体験、職業人講話	【職業人講話】「雇用情勢と求められる人材」講師未定				6時間				
訓練時間総合計	612時間	学科	39時間	実技	567時間	企業実習	時間	職場見学等	6時間
受講者の負担する費用	教科書代	12,518円				合計	12,518円		
	その他()	0円							
	備考()								
受講生の負担する費用の注意点	特になし								
備考	※ 金額は、すべて税込みです。								

(注1) ハローワークで職業相談を受け、現在有する技能、知識等と労働市場の状況から判断して、就職するための職業訓練を受講することが必要と判断された方に対して、次回の職業相談時に適切な訓練コースの受講申込書が交付されます。(初回の相談時においては、受講申込書は交付されません。)当該受講申込書を募集期間内に訓練実施機関までご提出ください。

(注2) 求職者支援訓練を受講する方は、就職支援措置の実施に当たるハローワーク職員の指導又は指示に従うとともに、自ら進んで、速やかに 職業に就くように努めなければなりません。



ハロワーク